

『ワシン^ツ2ウレタン 450ml セット(上塗り液・下塗り液)』説明書

■説明書や塗装方法をよく読んでから使用してください。 ■引火性の液体です。 ■有機溶剤中毒の恐れがあります。

【使用上のポイント】

- ①当製品には主剤と硬化剤があり、混合すると硬化が始まりますので、1時間以内(20℃)に使用してください。1回に使用するだけの量を混合するようにしてください。混合した塗料の余りは、容器の中へは戻せません。また硬化剤を間違えないようによく確認してから使用してください。
- ②主剤と硬化剤の配合は、「2(主剤) : 1(硬化剤)」の比率です。配合を間違えないように、正しく計量してください。(重量ではなく、体積で計量してください)
- ③主剤と硬化剤を混合した後、「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で40%程度うすめてください。
- ④一度に厚く塗ると、塗装面に気泡が出ます。厚塗りをしないように注意してください。
- ⑤ハケや容器などは、使用後ただちに「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で洗ってください。

【塗装上の注意】

- ①「ワシン 2ウレタン」は、下塗り液と上塗り液を各2回塗ってください。塗り重ね時間は裏面の工程表を参照してください。乾燥不足は上塗りした塗膜の乾燥不良につながります。塗るつどよく乾かしてください。
- ②塗り重ねる際、研磨後ただちに重ね塗りをしてください。時間をおきすぎると密着不良の原因になります。
- ③シリコン系のつやだし剤(ワックスなど)を塗布してある場合は、密着しないので塗装しないでください。
- ④乾くまでは塗料を塗った部分に直射日光が当たらないようにしてください。
- ⑤硬化剤は特に固まりやすいので、開封後は速やかに使い切ってください。やむを得ず保存する場合は、中栓をしっかり閉めて保存してください。

【取扱上の注意】

- ①取扱中は手袋などを着用し、塗料が皮ふに触れないようにしてください。汚れてもよい服装で塗装してください。衣服や用具についた塗料は、そのつどすぐに「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で洗ってください。
- ②容器のままよく振り、塗料を充分攪拌してから使用してください。
- ③塗装は火気のないところで注意して行い、塗装中・乾燥中共に換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは換気をしてください。
- ④この塗料は「ワシン2ウレタン専用うすめ液」でうすめてください。
- ⑤木材の色合いによって仕上がりが変わります。また、ニス塗装するとぬれ色(アメ色)になります。同材質の見えない部分に試し塗りをし、仕上がりを確かめてから本塗装に入ってください。
- ⑥この塗料は、定められた用途以外には使用しないでください。ピアノ、乗用車、美術工芸品、高級家具(桐の家具等)などの塗り替えには使用しないでください。
- ⑦ワックスやロウの塗ってある上、デコラ板、化粧合板、セラミック塗装合板など、特に付着の悪い素材、また浴室など湯気や湿気があるところには塗らないでください。
- ⑧なま木や乾燥が不十分な木材には塗装しないでください。塗装後の剥がれ、ピンホール、白化、カビなどの原因になります。
- ⑨塗る面の汚れ・カビ・シミ・ゴミ・油分などを取り除く、研磨して平滑にするなど、充分木地の調整をしてからニスを塗ってください。
- ⑩ヤニ分の多い木材に塗装した場合、乾燥が著しく遅くなったり、乾かなくなったりすることがあります。
- ⑪古くなって変色したり、黒ずんだ木部にニスをそのまま塗ると、さらに黒ずんでしまいます。塗る前に研磨や漂白剤などで、変色や汚れを除去してから塗装してください。
- ⑫湿度の高い日や風の強い日は、塗装を避けてください。
- ⑬乾燥時間は、温度・湿度・塗布量など塗装条件によって変わります。
- ⑭塗料が乾かないうちに、濡れたものを置かないでください。表面が白くなることがあります。

【貯蔵保管上の注意】

- ①この塗料は飲み物ではありません。誤飲・誤食をしないよう、よくフタをし、安全な場所に保管してください。
- ②残った塗料は密封・密栓をし、冷暗所に保存してください。

【廃棄時の注意】

- ①容器は塗料を使い切ってから廃棄してください。
- ②容器や塗料を河川や下水道などへ、そのまま捨てないでください。

【火災時の注意】

- ①万一火災になった場合には、泡消火器、粉末消火器などで消火してください。

【その他の注意事項】

- ①塗装以外の用途に使用しないでください。

ワシン^ツ2ウレタン 塗装標準工程 (ハケ塗りの場合)

■説明書や注意書きをよく読んでから使用してください。

①	木地研磨 (きじけんま) サンドペーパー #240~320	木目に沿って、ザラつきがなくなるまで。 研磨粉をウエスでよく拭き取る。
②	着色 ワシン水性ポアーステイン(別売) [水で1:1に割る] 乾燥 自然乾燥 1時間以上/20℃	着色後、乾かないうちに、 すぐウエスで拭き取る(ムラのないように)。 色がうすいときは乾いてからもう1度塗る。
③	下塗り(1回目) 主 2:1 硬 ワシン2ウレタン下塗り液 [混合後は1時間以内に使用する] 乾燥 自然乾燥 約2時間/20℃	下塗り液は「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で約40%うすめる。 ハケに塗料を含ませすぎないように注意する。 大きい泡が出たら毛先で消す。抜け毛は虫ピンで拾う。
④	塗膜研磨 (とまくけんま) サンドペーパー #400 以上	木目に沿ってよく研磨し、研磨粉をウエスでよく拭き取る。 着色している場合は、色の研ぎ出しに注意する。
⑤	下塗り(2回目) 主剤 2:1 硬化剤 ワシン2ウレタン下塗り液 [混合後は1時間以内に使用する] 乾燥 自然乾燥 約2時間/20℃	下塗り液は「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で約40%うすめる。 ハケに塗料を含ませすぎないように注意する。 大きい泡が出たら毛先で消す。抜け毛は虫ピンで拾う。
⑥	塗膜研磨 (とまくけんま) サンドペーパー #400 以上	木目に沿ってよく研磨し、研磨粉をウエスでよく拭き取る。 着色している場合は、色の研ぎ出しに注意する。
⑦	上塗り(1回目) 主剤 2:1 硬化剤 ワシン2ウレタン上塗り液 [混合後は1時間以内に使用する] 乾燥 自然乾燥 5時間以上/20℃	上塗り液は「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で約40%うすめる。 ハケに塗料を含ませすぎないように注意する。 大きい泡が出たら毛先で消す。抜け毛は虫ピンで拾う。
⑧	塗膜研磨 (とまくけんま) サンドペーパー #400 以上	ホコリやゴミを取る程度に、軽く研磨する。 研磨粉をウエスでよく拭き取る。
⑨	上塗り(2回目) 主剤 2:1 硬化剤 ワシン2ウレタン上塗り液 [混合後は1時間以内に使用する] 乾燥 自然乾燥 5時間以上/20℃ 仕上がり	上塗り液は「ワシン2ウレタン専用うすめ液」で約40%うすめる。 ハケに塗料を含ませすぎないように注意する。 大きい泡が出たら毛先で消す。抜け毛は虫ピンで拾う。

■着色をしない場合は、工程②を省略してください。

■仕上がり後も、臭いがなくなるまでは十分な換気をしてください。

【救急処置】

- ①皮ふに付着した場合には、すぐに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けてください。
- ②目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く 医師の診察を受けてください。
- ③蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ④誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

和信ペイント株式会社

〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽 2100-18

TEL 0480-48-2021 FAX 0480-48-2024

お客様センター 0480-48-2725